

第2回尾張北地区キャンポリー 基本実施要項



日本ボーイスカウト愛知連盟

尾張北地区

2 回尾張北地区キャンポリー 基本実施要項

第1章 開催の目的

第2回ボーイスカウト尾張北地区キャンポリー(以下「地区キャンポリー」という。)は、尾張北地区内のスカウトが一同に集い、自然の中での野営生活を通じて、日頃の訓練成果を発表し、参加者相互の友情と理解を深め、将来、地域社会に貢献できるスカウトの育成とスカウト運動のより一層の発展に大きく寄与することを目的とする。

第2章 地区キャンポリーの目標

地区キャンポリーでは、スカウトの夢を大きく膨らませ、日頃のスカウト活動の取り組みが実を結ぶ楽しい大会とするために、次のとおり、目標を設定する。

【スカウトの目標】

1. スカウトは「おきて」の実践を自分で考え、行動し、振り返ることにより、自らの「ちかい」の心を育てる。
2. 自然の中での野外活動を通して、環境の大切さを考え、自らを成長させる力を身につけ、多くの恵みに感謝する。
3. 自分の班、隊の仲間と切磋琢磨するとともに、大会に参加する多くのスカウトと交流し、友情を深める。
4. 自らがこれまでのスカウト活動で身につけた能力を発揮するとともに、大会のプログラムに積極的に参加し、更に心身を鍛え、技能を磨き、奉仕の心を育む。

【隊指導者の目標】

1. スカウトの手本となるよう、指導者自身も率先して「おきて」の実践に取り組み、自らの「ちかい」の心を大切にする。
2. スカウトが快適かつ安全に長期の野営生活を送れるように、野外技能を十分に訓練するとともに、環境に配慮したスカウトキャンプが実現できるよう、指導を行う。
3. 日頃の班活動、隊活動の中でパトロールシステムが機能するよう支援するとともに、大会中は、スカウト相互の交流が実現する機会を提供するように心がける。
4. 大会の主役はスカウトであることを深く認識し、次のことを盛り込んだプログラムが提供できるよう考える。
 - ・スカウトの心身の成長に役立つもの
 - ・スカウトの技能の向上に役立つもの
 - ・スカウトに奉仕の機会を提供できるもの
 - ・スカウトが日頃の訓練の成果を発表できるもの
 - ・スカウトが自ら考え、行動し、評価できる機会を得るもの

【大会運営者の目標】

大会運営者(大会本部要員、各運営部要員)は「スカウトの目標」、「指導者の目標」が達成できるよう、施設資材、野営管理、大会プログラム等のすべての面からこれを支援するとともに、スカウト運動が地域社会に正しく理解されるよう最善を尽くす。

第3章 名称

第2回ボーイスカウト尾張北地区キャンポリー (2nd OWARI-KITA SCOUT CAMPOREE)

第4章 テーマ

「キャンプ名人になろう」

第5章 主催

日本ボーイスカウト愛知連盟 尾張北地区

第6章 協力

犬山市・犬山市教育委員会後援
栗栖桃太郎発展会

第7章 会期

平成20年5月3日(土)～平成20年5月5日(月)
5月3日(土)開会式に始まり、5月5日(月)閉会式の後、環境整備をもって終了する。
5月3日(土)9:00に会場し、同年5月5日(月)16:00に閉場する。

第8章 会場

犬山市桃太郎公園 サイト案内図は別紙

第9章 参加者

尾張北地区内の加盟員を対象とします。(参加予定者数 スカウト120名、指導者100名 合計220名)

1. 参加スカウト

- (1) ボーイ隊所属のスカウトで、隊長および保護者の参加承認を得たもの。
- (2) 班の仲間と協力し、野営生活に耐えうる十分な健康状態であるもの。

2. 大会奉仕者

大会運営に積極的に協力、奉仕する意欲のあるものとする。

(1) 隊指導者

ボーイ隊所属の隊指導者を原則とし、参加スカウト(参加班)への指導・助言ができるもの。

(2) 大会本部要員

< > ベンチャースカウト

大会本部が設置する「ベンチャー奉仕隊」に所属する。 隊編成等は、別に定める。

< > ローバースカウトおよび成人指導者

所属団の推薦を受け、実行委員会により委嘱されたもの。

(3) その他

大会本部がプログラム関係等に外部から協力を依頼する専門スタッフ。

主催、後援団体の職員、その他で大会運営本部が必要と認めた者。

第 10 章 参加申込および参加費

1. 参加申込書

(1) 参加スカウト

参加申込は班単位とし、所定の用紙に必要事項を記入し、班長は所属隊長に提出する。
所属隊長は、班長提出の記載内容を確認の上、団の申込担当者に提出する。

(2) 大会奉仕者

所定の用紙に必要事項を記入し、団の申込担当者に提出する。

2. 参加費

参加スカウト、大会奉仕者共に一人 5,000 円とする(大会運営費、食費、保険を含む)。

一旦納入した参加費は、返金しません。

別途、選択するプログラムにより別途費用が必要となります。

3. 参加申込手続

団の申込担当者は、参加スカウト、および大会奉仕者の参加申込書を、団で一括して取りまとめ、大会総務へ提出する。

参加申込書提出と同時に、参加人数分の参加費を下記口座へ送金する(振込手数料は団負担とする)。

尚、参加申込書の提出、および参加費の振込については、平成20年3月31日(月)を締切とする。

申込書 送付先

〒484-0894 犬山市羽黒堂ケ洞20 - 35

地区キャンポリー 総務担当 犬山第2団 佐々 由高 0568-67-8731

参加費 振込先

三菱東京 UFJ 銀行 西春支店(237) 普通4511809

日本ボーイスカウト愛知連盟尾張北地区会計 平野嘉彦

第 11 章 組織と運営

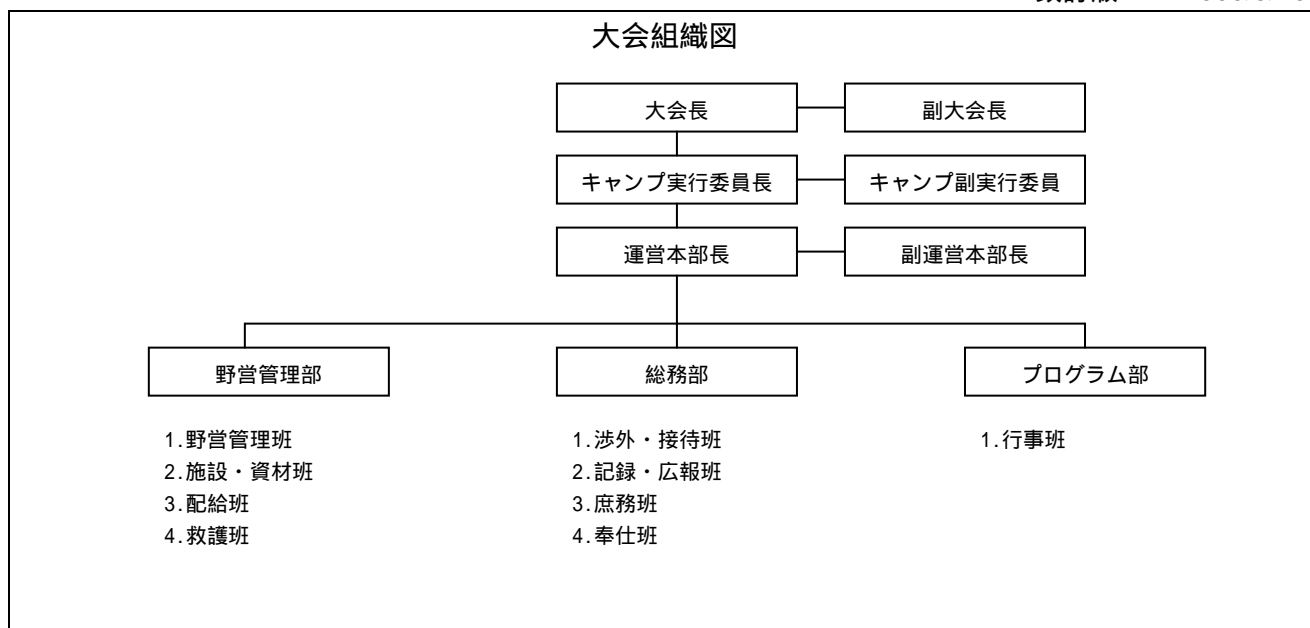
1. 組織と運営方法

(1) 地区キャンポリーは、「大会本部」と「参加班」をもって組織され、大会本部から参加班への情報伝達により運営する。

(2) 隊指導者は、大会本部から参加班への情報が正しく伝達されているかを確認の上、大会開催前からの支援をお願いする。

2. 大会組織

大会本部の組織は次のとおりとし、それぞれの役割に応じて活動する。詳細は、別に定める。



第 12 章 大会活動と日程

1. 基本方針

参加スカウトにとって、夢と希望に満ち溢れ、感動を与える思いで多い大会とするため、特色のあるプログラムを設定し、多くの友情が含まれるよう、ゆとりある活動を目指す。

- (1) 全体行事は、「開会式」「交歓会」「大営火」「閉会式」の4つの行事とし、参加者全員が一同に集い開催する。
- (2) 自主プログラム 基本方針に基づき参加スカウトおよび参加班によって実施する。

2. 大会日程表

日 課	時間	5月3日(土)	5月4日(日)	5月5日(月)
国旗掲揚	8:30			
午前の活動	9:00 11:30		プログラム活動 2(中) (バイオアリング & クラフト)	プログラム活動 4(中) (発表)
昼食	12:00			
午後の活動	13:00 16:30	開会式 プログラム活動 1(自主)	プログラム活動 3(南) (目指せマスターバッヂ)	閉会式 撤営
国旗降納	18:00			
夜の活動	19:00	交歓会(北)	大営火	
班長連絡会	21:00			
消灯	22:00			

3. 国旗掲揚、国旗降納

- (1) 国旗掲揚は、8時30分に大会本部がアリーナにて行い、掲揚手は正装とする。
参加スカウトは、正装で各班サイトにて、大会奉仕者は、そのままの服装で国旗又は国旗掲揚中の方向に向かい敬礼する。
- (2) 国旗降納は、18時に行い、掲揚手は正装とする。
全員作業を中止し、そのままの服装で国旗又は国旗掲揚中の方向に向かい敬礼する。

第 13 章 大会本部が準備するもの

1. 野営区域

参加班サイト、奉仕者宿泊地域、大会本部地域、アリーナ、水道施設、便所等を配置する。

2. 公共地域と施設

アリーナ、救護所、駐車場、駐輪場等

3. 大会本部関係施設

受付、宿泊所、来賓休憩所、会議所、倉庫、食堂、行事用地域、その他必要な各種付属施設

4. 付帯施設

水汲み場、便所、汚水処理場

第 14 章 救護衛生および安全

1. 健康調査

参加スカウトは参加 1 ヶ月前に保護者が健康カードに必要事項を 2 部記入し、隊長の承認を受け 1 部は本人が持参し、1 部は会場到着と同時に受け付けに提出します。なお、大会奉仕者は各自で記入し受付に提出します。

2. 個人衛生

参加スカウトは各隊長の指導の基に健康管理および安全に留意し、注意事項を厳守する。また、大会奉仕者は自らの健康管理安全に留意する。

3. 環境衛生

- (1) 水汲み場、汚水処理場、便所、シャワー等の共同施設の清掃消毒等は大会本部が担当する。
- (2) 期間中のゴミについては大会本部の指示により分類し、回収方法等については別に定める。

4. 救護所

万全を期するため、救護所を設置するとともに大会本部が委託する場外の病院等に依頼する。

5. 安全

安全管理に関する事項は別に定める。

第 15 章 輸送および車両統制

1. 参加スカウトの輸送

参加スカウトの居住地から会場までの往復の交通手配については、隊指導者の指導の下、参加者の責任で行う。

2. 車両統制

- (1) 大会参加に関する駐車場、駐輪場は別に定める。
- (2) 会場内における個人車両の使用は一切認めない。ただし、集散時の資材搬送については大会本部が定める規制の下で運行できる。

第 16 章 大会での食事

1. 大会本部による参加スカウトおよび隊指導者への配給期間は、5月3日(土)夕食から5月5日(月)昼食までとする。

2. 配給については、献立表に基づく副食材料、および調味料は配給するが、米は支給しない。

3. 炊事用燃料の薪については、別に定める。
4. 5月3日(土)昼食以前および5月5日(月)夕食以後の食事は、参加スカウトおよび隊指導者で用意する。
5. 非常用緊急用の食材は、必要に応じて配給する。
6. 大会奉仕者については、食券を発券する。

第 17 章 情報

1. 大会公式ホームページを開設する。
<http://bs-owarikita.net/news/080503/index.html>

第 18 章 服装、および携行品

1. 服装
 - (1) 開会式閉会式は正装とし、所定の記章、標章のほかに参加章を制服の右ポケット中央部正しくつける。
 - (2) 活動中はIDカード・保険証(コピー可)を必ず携行する。(紐の色で任務分担する。)
 - (3) 作業に従事する場合およびプログラムに参加する場合はそれにふさわしい服装とする。

2. 携行品および野営装備

ア 個人携行品

加盟員登録証	水筒	主要材料
ユニフォーム	洗面具	健康カード
作業着	針糸等補修用具	IDカード(受付時に配布)
寝具類(寝袋等)	筆記用具	
雨具	ナイフ(旅行中は腰に下げない)	
各種着替え	コンパス	
ロープ	懐中電灯	
手旗	運動靴	
パジャマ	交歓、営火用品	
作業用手袋	健康保険証(北-可)	

3. 班装備

テント一式	会場周辺の地図	灯具
救急用品	工具一式	立ちかまど一式
修理具一式	配給前後の食料品	
炊具一式	班旗	

4. 大会本部装備

マーキー(6)式	国旗一式	横断幕 60×180
縛材	のぼり(縦)60×180	食堂フライ
発電機(500W×2)	立ちかまど土砂	救護所兼スカウトクラブ (マーキー1)
薪	テーブル()脚	
竹	イス	野営管理マーキー3(2+1)
タフロープ・ペグ	ろ過器	総務兼会議マーキー2

第 19 章 見学者の来訪

1. 見学者の来場期間

見学者の来場は、5月3日から5月5日までの期間とする。

不審者・盗難対策のため無断でサイト内に入らない。

2. 見学者の取り扱い

見学参加費については無料とする。

見学当日は、受付にて名前・団名を記入し「見学章」を全員着用する。

3. 見学者の服装

基本的に制服着用とするが、スカウトの保護者等で制服がない者については見学にふさわしい服装とする。

4. 見学者の輸送、食事等

見学者の駐車場については別に定める。 宿舎および給食については見学者で準備する。

[memo]